明治卅六年四月五日第三種郵便物認可　毎月一回二日發行

家庭雜誌

第三卷　第九號

明治三十八年九月二日發行

予の精神日……一
嫁せる妹に返事（安藤生）……六
人は何故に我子を要するか（禄亭）……九
結婚の媒介……一四
家族の健康……一五
モック・ハーセーチ……一九
英國家庭の一美風……二〇
京城だより……二一
家庭園藝（二葉）……二二
●花守日記　●秋植えて春咲く花　●新花譜
子供の睡眠時間……二六
お辨當案……二八
新聞三面記事評釋（堺利彦）……二九
嬰兒の歌……三一
筆ついで……三二

由分社

東京市麹町區元園町壹丁目

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

堺利彦著

半生之墓

《定價金卅五錢》

郵税を要せず

新刊

▲目次△哀史梗概△不知所往列傳△僕にもオバアさんが欲しい△小供の導き△細君の説法△敵△一人の要する土地幾許△別莊拜見の記△獄中生活△風流乞食△永久の滿月△予の半生等あり

●「予の半生」中より左に二節を拔く

「予は予の半世を人に語りたく思ふ。去午の暮、平民社の木下、幸德、西川、石川の四君と共に懺悔會を開いて、各々その半生の歴史を語つた時、予はそれを其まゝ平民新聞の紙上に發表する積りであつた。然し、それは都合あつて止めにしたが、今は丁度その發表の好時機を得たので、玆に大略の事を物語らうと思ふ」(冐頭一節)

「ア、是で胸がスッとした。言ひたい事を言つてしまつた。書きたい事を書いてしまつた。包んで見ても、開いて見ても、予は只だ是だけの男であるのだ。遺傳に刺激せられ、境遇に壓迫せられ、周圍に引張られ運命に導かれ、種々雜多なる感化影響を受けた結果が、即ち斯くの如き「予の半生であるのだ。更に之を喩ふれば、溪間に湧いた苦清水が、或は泥田の上を流れ、或は小石の間を流れ、或は雨水に其量を增され、或は毒水に其質を汚され、或は岩に激して沫となり、或は崖に遭ひて瀧となり、十里、二十里、三十里、流れ〳〵て行くに似て居る。あゝ此の先は何處に流れて、一層澄むやら濁るやら、如何なる海に入る事やら」(結末の一節)

取次所 東京市麹町區元園町一丁目 由分社

●本誌定價及廣告料

一部	一ヶ月	六ヶ月	一ヶ年	全國
金六錢	金六錢	金卅二錢	金六十錢	無遞送料

廣告料——特別一頁十圓、普通一頁七圓

注意

一、本誌は毎月一回(二日)發行とす。

一、本誌の購讀料は小爲替を以て御遞送の事。
　但し郵券代用の節は五厘切手にて一割增の事。

一、購讀者は住所姓名を詳細に記して申込まれたし。又轉所の際は新舊の宿所共併せて御通知あるべし。

一、爲替振込局並に受取人は無指定にてもよろし。

明治三十八年八月廿九日印刷
明治三十八年九月二日發行

發行兼編輯人 東京府豐多摩郡千駄谷村字原宿百九十一番地 西村惠治郎

印刷人 東京市京橋區日吉町十番地 中村彌助

發行所 東京市麹町區元園町壹丁目廿七番地 由分社

大賣捌所 上田屋 良明堂 東京堂 東海堂

印刷所 東京市京橋區日吉町十番地 近藤商店

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

滊機滊罐　耐震煙突

宮原水管式滊罐　諸種喞筒

東京市芝區
金杉新濱町
壹番地

株式
會社

芝浦製作所

（電信略號シハウラ）

發電機　電鐵電燈用具

電動機　變壓器

電話（特五三番
新橋（三五〇番
（三二三三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

京都同志社神學校教頭 ラルチデ博士講述
大宮季貞氏筆記

新約聖書 共觀福音講解 上巻

●洋紙極上印刷 鮮明背皮上製 定價金壹圓八十錢 小包料十五錢●

本書は基督教の心髄を知らんが爲、聖書研究の熱愈々盛ならんとする今日、博士が豊富なる學識と多年の經驗とを以て、共觀的に、又講義的に解釋を下し、且つ言文一致の文體を以て講述されたる者なれば、何人にも甚だ了解し易き嶄新なる良書なり、

海老名彈正、松村介石兩君序
永島忠重著編

蕃山拾葉

價卌五錢 郵稅四錢

英雄偏熊澤蕃山子、遺すところの訓戒説論百六拾餘箇を収む、其卓越せる識見と、超凡なる人格とは、以て萬世の師表と爲すに足るべく、其時代を超絶して千歳に貫くの大精神は、以て國民の誇りとするに足るべし、若し善く此書を讀む者は必らず得るところ大なる者あらん。

發兌 東京京橋區尾張町 警醒社書店

本紙特色 理屈は云はないで實用ばかり やさしい文章で面白い書き方 質問隨意返事は親切で分る迄

第四號 九月一日發行 目次

◉お伽噺懸賞募集 ◉可愛い〳〵 口繪
◉菓子は大きながら食へさせよ◉繼子里子貰子
◉鶴の子の育て方を見て ◉オリーブ色の流行した理由 醫學博士 三島通良
◉小供を洗ふ石鹼
◉伊崎少將夫人の家庭教育談 教授界主幹 有久龍一
◉我子三人の氣質◉臆病子の直し方◉ハンケチ洗濯法

明治の家庭

◉島津公爵家庭教師ハーワルト孃の話を評す 白虹
◉子供に金槌と釘とを與へよ 岸邊東洋幼稚園長
◉岩坪中尉夫人の絶筆 ◉子供の體量の增す割合
◉子供の育て方◉癇癪の强き小供◉小供に雀鳥を殺さすこと◉四ッの子供の間食度數（質問適應なし）
◉洋館の戸を開け得ない小供◉料理法 白虹
◉家事のいろ〳〵（質問適應なし） ◉千葉博士の女中はる子に寄す

定價 一冊金六錢 六册郵稅共卅三錢 十二册六拾錢 ●毎月一回

發行所 東京市牛込區納戸町六番地 明治の家庭社
發賣元 東京日本橋區本石町三丁目 寶文館
電話本局二三三三

◀文藝評論雜誌▶

火鞭

毎月一回十日發行

一部八錢 郵税不要

東京市牛込區南山伏町十四 火鞭會編輯

第壹號は九月十日を以て發行す

第壹號要目

火鞭を揚げて陣頭に宣す（秀湖）心靈の私語
The Mob Spirit（内田魯庵）神火と人火（兒島蝶川）荒尾讓介論（宮田脩）ニイチエとシヨンペンハウエル（久津見蕨村）掠奪婚と賣買婚を論して日本の結婚に及ぶ（有香）藝人の社會的地位（霞外）眼中の人（介山）新羽衣（トルストイ）僕の自白（[illegible]）小説をさな心

告白

一、火鞭會は科學萬能主義に抗じて、人類の迷妄を打破し、現代の文明を批評して、黙移暗遷する時代の黒潮に棹す

二、火鞭會は藝術の爲めに藝術をなさず、形式と技巧とに束縛せられたる軟弱なる文學を排し、藝術の根底に横はれる、人生及び人道の光に觸れんとす

三、火鞭會は批評を以て創作の綠扇となすを彈劾し、炎々たる新生命を鼓吹せんとす

發起人

中里介山　白柳秀湖　山口孤劍　小野有香　宮田暢　安成貞雄　原霞外

第壹號要目

中（柏木露月）鞭や焔の穗七分（[illegible]）箱根漫吟（谷江風）洋畫の和化（阪井義三郎）かの夕（△○子）火鞭に題す（有香）夜（五蛇）漫興（桑田春風）海名老彈正に與ふ（孤劍、秀湖）東西南北（火鞭會同人）新刊評論（記者）革新派の女夫波（社會劇會々員）ほのほ（花外）月下のさすらひ（秀子）憐れなる狂小女（小野生）其他新體詩、和歌、俳句、川柳雜詰（久良岐）

入會希望者は往復ハガキを以て發行所へ申込むべし

發行所　東京麹町區富士見町六丁目十番地　研成會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

西村渚山、堺利彦、合輯

由分社少年叢書

（毎月一冊十五日發行）

▲定價一冊金十錢
▲半年分五十五錢
▲一ケ年分金壹圓
▲總べて郵税不要
▲毎月十五日發行
▲注文は前金の事

◉第壹册『眼のある人』『三人大男』（九月十五日發行）

我等は家庭に於ける少年男女の爲に最も善き讀物を供給せんと欲す、而して其の特色は▲第一面白く▲第二分り易く▲第三爲になるに在り▲少年諸君にして若し之を歡迎したまはゞ、第一輯十二册を終りたる後、更に第二輯、第三輯を續出し、遂に幾百册の讀物を日本の家庭に獻するを期すべし▲諸君先づ試みに第一册を讀め第二册以下の豫日左の如し

◉（第貳册）小供のバイブル　十月
◉（第參册）昆虫ものがたり　十一月
◉（第四册）クリスマスの話　十二月
◉（第五册）アフリカお伽話　卅九年一月
◉（第六册）自然界の一年　二月
◉（第七册）ロビンソンの話　三月
◉（第八册）小兒園藝　四月
◉（第九册）アンデルセンお伽話　五月
◉（第十册）花の國お伽話　六月
◉（第十一册）ドンキホーテの話　七月
◉（第十二册）イソプ教訓談　八月

發行所　麹町區元園町一丁目廿番地　由分社

●大賣捌　東京堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭雜誌

第三巻
第九號

予の精神日

〔堺亡夫人の一周忌追悼會〕

人事のある喜びの爲めに相寄り相集ふと云ふ事が、吾人にとつて頗る嘉みすべき事であり、且つ、それに依て得らるゝ精神上の快感慰籍も少なからぬものとするならば、吾人が平生の俗念、俗智から離れ、胸底に深き哀悼の思ひを宿しつゝ、蕭然として席自ら改まると云ふやうな會合に臨む事は、痛切に人生の意義を直覺し、忘られ勝ちなる其心靈をして、直に神の靈光に接せしめる事を得る點に於て、一倍願はしく望ましき事であらうと思ふ。私は日曜日に教會に行つたり、葬儀の席に列らなつたりする折を、自ら稱へて精神日と名付けて居るのである。丁度八月の十八日は、亡堺みち子夫人の一周忌に相當するので、其追悼會が芝濱の大光館と云ふに營まれた。私に取つては、これも一個の精神日である。幸ひにして發起者の方々から前以て通知を受けて居た。私は行かざるを得ぬ。

當日はたまの天氣で、大光館樓上の夏座敷、南に向つた欄干に倚つて、紫の色をうつすりと靄の中に見せた房州の山を望み乍ら、晴れ渡つた海の景色を眺める心地は得も云はれず嬉しかつたが、何分にも風がなく、正午の太陽がぢり〳〵と烈火のやうな光線を投げるのには、場所柄丈に口惜しき氣持ちもしたのであつた。

私が妻と一所に會場に着いたのは、十時と云ふ定刻を餘程過ぎて居た。床の間の前に据ゑたテーブルには美しき花が生けられ、亡き人の寫眞が其下に飾られてあつた。既に出席して居る人が二十五六名もあつたらしい。男子側は二三組に別れて海の方に座を占め、種々の雜話に耽つて居るが、婦人の出席者は幹事の方を除いて、二三人の上に出でないので、席が俄に定まらず、それかと云つて遠慮して居るのか、話の中心とな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るやうな人もなく、傍から見て居ると多少の寂し味があつたやうに思はれたのである。其内に、また五六人見える。丁度十一時半頃になつて、一同は改めて着席し、同時に主任幹事福田英子氏の開會の辭あり、それが濟むと、黒き脊廣に黒きチキタイを附けた安部磯雄氏は起つて演臺に就き、例の沈着な優しい調子で以てその口を開かれた。曾て本誌にても紹介した如く、氏は絶對の一夫一婦の主義を把持して居られるので、斯樣な席に臨んで、自己の飾らざる信念を告白するのは、氏の私に愉快とした所に違ひない。演説は徹頭徹尾靈魂不滅説の上に根底を置き、其中、『我等はこの亡き人に對して、單に忘れぬが爲めに紀念追悼會を催す位では物足らぬ。心の底には、尚ほ其人は我等の間に存在せり、と云ふ信念を持つて居らねばならぬ。』などは、我等の耳に最も深く染込んだ語句の一つであつた。それから、社會主義に對する同主義者の覺悟を述べては、『社會主義者の天職は單に此社會の一階級を救ふ事にのみあるのでない。其の理想は今一段高く、其眼界は一際廣く、即ち各階級を通じて、世界全土の人類をして、平等に此新曙光に浴せしめねばあらぬ。それに就いて要する時間は、無論僅かの年月でない。十年二十年、百年、二百年、前途は洵に遼遠である』。と云ふやうな意味を語り、一轉して、更にこれを靈魂不滅の亡き人の上に對照し、『日本の社會主義はまだ目鼻も付かぬ嬰兒である。亡夫人は最愛の良人と小供とを遺して逝かれたが、ゆく〱は我等もこの社會主義と云ふ嬰兒を遺して死なねばならぬ。』と結び付けて席に復られた。

次席に顯はれたのは木下尚江氏である。氏の演説は他の席上で聞くのに比べて、今日のは何處となく莊重の音があり、そして、絶えず社會に對する不滿の情がほのめいて居た。氏も亦矢張『靈魂不滅』論者であるが故に、世上幾多の唯物主義者、無神論者などには、一大痛棒であつたかも知れぬ。最初亡き人の生前、堺氏が獄より出で丶角筈の寓居に歸られた時の光景を述べて云ふ『堺君が數多の同志に圍繞せられて、懷しい家

の門を入り、玄關際で亡夫人と面を合はした剎那は果してどうであつただろう。亡夫人か其頭もう餘程重患に陷つて居られた。其起臥不自由なる病體を無理に玄關へと運ばした夫人の青白き頰の上に、私は瞬時、而も永久に忘れ難きある物を認めた。それは寂しき微笑の影である。堺君は此久し振りの對面にもゆつくりして居る暇がない。折節腸を患つて居た幸德君の所へ、其足で靴の紐も解かずに行つて了ふ………』――全く氏の小說を聞いて居るやうな心地であつた。それから、近來筆に口に、且つ論し且つ說いて飽かぬ、自由戀愛の思想を傳へ、自由戀愛は肉の關係に依て成立せずして、靈の合致が其根本であると云ふ意義を述べられた。第三席は久津見厥村氏で、氏は社會主義者以外の地位に立ち、そして可成的高尙の思想を避け、心に浮んだありの儘の感情を、其席上で表明しやうとて勗められたものらしい。氏は曰く、哲學とか靈魂不滅とか、さう云ふ六ケ敷い事は一向に知らぬけれど、其何も知らぬ心にも、深い感情は湧いて來る。私は亡夫人の娘時代の花の姿を知つて居た。そして、その花の姿が重き病に惱まされて、見るにも堪えぬ哀れな姿となつた時、私の胸はどんなであつたゞらう。而も、その哀れな姿は終に一片の白骨と化し去つた。私は只もう人生のつまらなき事を感ずるより外はない。人生とは斯くも果敢なきものであるか……』要するに此樣な意味であつたと記臆する。私は思つた。然り、そのつまらなき人生！果敢なき人生！人間の感情が一度此所に至る時、誰にもあれ、其人の胸奥に、一種不可思議なる感情が起つて、自己よりも強き、自己よりも偉大なる、そして賴るに足るべき一大能者に一身を投げやうとする靈妙なる瞬時に觸れるやうな事がありはすまいか。換言すれば、あゝつまらない人生！これが人の宗教心である。果敢ない人生！これが人の宗教心である。高尙な思想もこれから湧くし、高尙な論議も折に依つては必要である。と。

　最後に堺氏が起つた。初めに自分の挨拶をなし、それから生前に於ける亡夫人の逸話を傳へた。曰く、『北

清戰爭の際、私は『萬朝報』から從軍記者として彼地に渡つた。最初上陸したのは營口で、それより太沽を經て戰地に向ふ筈であつたが、其時折惡しくも船が出ず、仕方なしに、私は營口に停つて居なければならぬ事となつた。其結果として、私は『朝報』に通信を送る事が出來ない。留守して居た妻はこの模樣を見て不思議に思つたらしい。朝來る新聞を見れども〳〵私の名を署した通信が出て居らぬ。彼はそろ〳〵心配し始めた。尤も私には彼の心事を知るよしもない。其後事解けて宅に歸つたが、矢張その心事を知る機會がなかつた。私がこれを知り得たのは、全く彼の歿後の事である。即ち、私は或日不圖彼の日記を繰擴げた時、料らず其事件に關する記事の一節を發見したのである。何が書てあるかと見ると、「利彦はどうして居るのであらう。戰場に臨む事の恐さに、卑屈の心を起したのではあるまいか。若しこの想像が果して眞實であるならば、妾は立所に自殺する積り。」とあつた。私はこれに依つて、善良と云ふ性質以外、更に彼に於て多少の氣慨のある事をも認めたのである。今や彼はもう亡き人の數に入つては居るが、而も、此一節の記事こそは、私の爲めに正しく大なる監督者となつて居る。若し私が日々の行爲の上に、事業の上に、卑怯の心を起すやうな事があるならば、私は直に此一節を思ひ浮べて、良心には痛切なる刺擊を受けるのである。』と。

第五席には、後馳せに見えた加藤ドクトルが出て、亡夫人に對する所感を述べた。ドクトルは同夫人の主治醫であつたので、その平生の動作から、性行の微に至る迄、能く知いて居られたらしい。話の中に、聽者をして最も尊貴に感ぜしめたのは、其病症が極度に達して、今日明日の内には死の手が見舞ふであらう、と云ふ悲慘な刹那にあつても、夫人に於ては少しも動ずるの色なく、常に神色自若として、會ふ人には何時のやうに優しき微笑を見せて居られた、と云ふ一項であつた。

時刻は正午を過ぎて、早や一時に垂れんとして居る。其時丁度この演説が終つて、式も同時に終りを告げた。これからは午餐である。婦人の方々は女中達を助けて、辨當を配る。茶を酌んで出す。斯くて、一同は箸を取つた。無論隣同志と話合ひなどして居るが、其心には

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何等或物に觸れて居るに違ひない。其間には亡き人の氣高き面影を空想に描き出して居るもあれば、今は靜岡にある忘れかたみのミス眞柄子の事に思ひを寄せて居る人もあらう。或は新しき人生問題の逢着、或は心靈上の直覺、人間の運命——一々枚擧すれば限りがないが、特に婦人方の若々しい柔かな胸には、正に偉にして强烈なる一種の感化を受けて事であらうと思はれた。

この食事中に餘興の幕が開かれた。松林伯知の講談であつたが、彼は場所柄と、出席者の種類とを見別けて、佐倉宗吾を題目とした。特に最後になつて、この話を社會主義者の精神に結び付けやうとしたのは、所謂俗に媚びんとする方法と同じて拙なかつたが、併し幾分の愛嬌はあつたと思ふ。必ずしも咎むべきでない。

この次の餘興は、加藤ドクトルの素人義太夫である。この炎暑をも厭はず、道具を運び、師匠をさへ拉して此等の公席を賑はさうとする氏の心掛には、只管感謝の外はない。そして、これ程有難いお客樣はない。のみならず、其藝や既に堂の奧に入れるもので、其太く力ある聲と、篇中の人物に同化して居る演者其人の精神とが相合致して、聽者の耳に金玉の響を傳へるのである。題は『寺小屋』であつた。

一同は斯く其耳を娯ませ乍ら、茶を啜り、菓子を摘み、水蜜桃の皮をむくのである。風は矢張ない。束髪に挿した輕いリボンも、ちらとだに動かずに垂れて居る。けれども、欄干越しに見ゆる品海の波の色、きら／＼と美しく、面白き雲の形も亦共に興ある眺め。座敷の入口には、下の女中連がせゝこましく重り合つて、ドクトルの淨瑠璃を謹聽して居る。何等可憐の心事であらうか。一體斯樣な位置にある婦人達は、無學な輕薄な貴婦人などに比して、存外人情の美を解し、人生の意義を直覺して居るものである。只悲しむべきは其の性情の磨かれず、教育と德育の助けがない爲めに人格高まらず、一般に不平均な發達をして、殆んど有耶無耶の間に一生を送るものが多い。『妾の家は貧なり。』これが彼等をして此地に陷れた原因ではあるまいか。

餘興が終ると、一同は思ひ／＼に別れて、思ひ／＼の話をして居る。丁度四時近くであつたらう。私は興の何時迄も盡きざるを覺えたけれど、二人共出て家が留守になつて居る。折柄二三人既に立掛る、私等は其後に尾いて大光館を出た。（湖山）

嫁せる妹に返事

（東京より長崎へ）

安藤生

喜久さん、ほんとに久振りに手紙を貰つたこと。二人の子供相手にいそがしい中を、よくあんなに細々と面白く書けたものね。僕は千代ちやんを抱いて居る。婆やは今しがたすんだ計りの夕飯の後仕舞を勝手元でして居る。稀には靜かな雨滴の音、身もくつろぎ、心もゆつたりした頃よ。門口に郵便の一聲、家内が早速取つてきて見ると、喜久さんからの手紙だろう。オヤ珍らしいことゝ云ひながら、封を披いて讀み上げるを、僕と千代ちやんと傍から聴いて居る。すると、書き方があんまり面白いと云ふので、讀役の家内が讀みやめては笑ひこけるんだ。マア其先を讀んで御覽と云つても、容易に笑ひやめないので、千代ちやんが僕の膝の上でけげんな顔してるのよ。

此間送つて戴いた寫眞、大きにありがたう。愛ちやんが六ツ、令司さんが二ツだつたね。よく寫ツてるよ。中島の寫眞館も十年の間に滅切り腕を上げたやうだね。僕等が書生時代によく行つて寫つた頃は、どうも下手で困つたが、愛ちやんの寫眞を見て、よく出來てるのに驚いたよ。

喜久さんの御宅では、母上樣も喜三さんも、皆々御揃ひで御達者だろうね。平素は御無沙汰計りで濟まないことね。どうか宜しく云つて頂戴。

僕も千代ちやんのことをちと書きませう。

八月の八日が千代ちやんの誕生日でね、もう誕生になつたのに此子はまだ立たないんだろうかと云つて居たれば偶然にしても不思議だね、其日の晝頃、座敷の眞中に千代ちやんが獨りで立つて、兩手をふわ〳〵させて居るの。それを見付けた時の家内の騒ぎ。マア立ちましたよ〳〵と高い聲で大喜びだ。僕も何だか知らぬが嬉しかつたね。其前の晩が面白い。家内が明日は此子の誕生ですから、是非赤飯にしたいと思ふのに、婆やが一寸歸つたので買物にもやられぬ。困つて仕舞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふと云ふから、ナアーに赤飯にしたつて、しなくたつて、千代ちやんはちつとも食べないのだからどうでもよいではないか。子の爲めの名目で、つまりは親がたべたい丈けなのだから、婆やが歸つてからにしようと云ふたれば、それもそうですねと、マアその話は一旦それですんだの。處が、調度其晩は三番町の二七の不動の縁日で、表は平素に似ず人通りが多かつたが、十時に僕は千代ちやんを抱いて寢たんだね。處が、家内が一寸出て參りますと云ふなり門を出たが、其内僕は寢て仕舞つて、翌日になつて起きて見ると、ちやんと赤飯ができてるのだろう。それで、僕は笑つてとうと買ひに行つたのかと聞けば、でもどう考へても、誕生日に赤飯もたかぬと云ふ法はないやうに思はれましたから、人通りの多いのを便りに、一人で青木堂の先き迄買ひに行つてきました。之れでマア世間なみ赤飯のお祝ひかできて、千代ちやんお前も嬉しいだろうねと笑つて居つたつけ。喜久さん、僕は郷里を出てから十年間、性來の無頓着、今になほらないで、家に神樣も佛樣も祭つたことなしだ。勿論神棚もなければ佛壇もない。唯床の間には注文して書いて貰つた、佐渡雪中の日蓮像が掛けてある。其上にはニコライガイの筆を四ッ切りの寫眞にした、キリストのゲッセマチ祈禱の景を額面にして掛けてある計りだ。盆がきても頓着なし、自分の誕生日がきても頓着なし、何も彼も無頓着で此十年を通してきたのだ。で、今年始めて珍らしくも娘の誕生日に、世間なみのお祝をした譯けよ。何故だらう、僕はお父さんの子に似合はないで、こんなに無頓着なのは。お父さんは神佛の大の信心家で、郷里に居る頃は、毎朝よく僕の拜みやうが粗末だと云つて小言をおつしやつたね。お父さんは今に種々の神樣を床の間と部屋々々の神棚とに祭つて、澤山の位牌を佛壇に飾つて毎朝毎朝信心して御出なさるのだろうね。毎年十二月の廿日になると、僕の誕生日だと云つて御馳走をこさへて、蔭膳を御兩親がそなへて居て下さると聞いて居る。僕の樣な無頓着ではほんとに濟まないとは思ふけれど、何時の間にか又無頓着になつて仕舞

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふのだ。喜久さん、井上家に嫁いでから、神さまや佛さまを信心するかね。十年前の僕の記臆では、喜久さんも兎角僕と同様拜み方が粗略だつて、お父さんから隨分お小言を頂いた方だつたわね。僕思ふに、僕は到底家の内に神さまや佛さまを祭ることは出來ないのだ。でもお父さんがあんなに信心家だから、子として親に似ないのは濟まぬとは思つて居るが、之も仕方がない、喜久さんは時々愛ちやんや令司さんを連れて、僕の宿許にも行つて吳れるだろうね。僕はおぢさんでありながら、まだお前の子供達を知らない。又うちの御兩親やお前なども、ぢぢさん、ばばさん、おばさんでありながら、千代ちやんを知らないのだね。一度は一處に寄つて見たいとも思ふが、何分江戸長崎と距たつては、容易に歸ることも出來ない。

　お父さんはたしか三十歳頃から白髪が生えかゝつたと聞て居るが、今五十歳におなりなさるのに、お寫眞見ればまるで白髪の老人だね。僕も頭髪はよく似たと見えて、もう白髪が大變ふえた事よ。昨年迄は四五本生えた度に珍らしくて引拔いたけれども今は數十本恐らく百本の上かも知れぬ。もう拔かないの、三十歳になつたのだもの。白髪のふえるは當然だ。喜久さんもほつ／＼生えたのじやないの。

　今來てる婆やは、東京でも名高い新俳優の伊井と云ふ人のお袋で、親切で子好きで、氣轉がきいて、さツぱりして居る。僕は至極よい人を得たと思ふ。實際奉公人と云ふ譯ではなく、子好きだからと云ふので、僕の宅に家事の助手に來て吳れたの。だから、僕は雇人とは思はないで、半客半家族と思つて居る。家内は昨年の産後、耳が遠くなつて、今は隨分不便を感ずるよ。先達、大學病院の耳鼻科で、岡田博士に診察を受けたれば、耳には更に故障がないから療治の仕方はないと云はれた。來客があるときは大きに困まる。僕も心配はし乍ら仕方がないから其儘にしてあるの。門口の鈴が鳴つても時には氣付かずに居てね。膝に抱いてる子供が表の方を見るから、若しや來客かと思ふて出て見ると、果してそうだつたなど云ふ事が度々ある。婆やが居なくは萬事不安心ゆゑ、先日から置くことにしたの。何れ其内には千代ちやんの寫眞を又神田の工藤でとつて送りますよ。また聞きたい事はあるやうだが、とても喜久さんのやうに面白く書けないから、之れてやめる。重ねて云ふが皆さんに宜しく。（八月廿日）

人と我子

〔人は何故に我子を要するか〕

緑亭主人

私は先頃或る人と斯う云ふ問題について話を致しましたが、其の理由として算へた事を茲に述べて見ようと思ひます。

●●第一、人は玩物として子供を欲しがる。人間は玩物を要する動物であると言ふは爭はれぬ事實であつて、大人になつてからでも、小鳥、金魚、盆栽、骨董、庭園、別莊など、、能く色々な玩物を有ちたがる。然るに翫弄物として自分の小供はどれ程の價があるかと言ふに、これは他の物質と較べて一種特別の趣味がある。子供の一擧一動は甚だ無邪氣にして愛らしく、多くの家庭に於ける和樂とか慰藉とか云ふ言葉の内には、玩物としての子供が重要なる地位を占めて居るのである。多くの親は自分を滿足させんが爲め、子供の迷惑や衞生の如何と云ふ事などに頓着せず、髮の毛を剃つて見たり、結ふて見たり、厚化粧をして見たり、餘計な着物の重ね着をさせたりして喜んで居る。又子供が漸く成長するにつき、色々と親に似た點が現はれて來て、其の笑顏が父にそつくりだとか、其寢顏が母に生き寫しだとか云ふ事を觀察するのも一種の樂みである。又子供に色々の藝を敎へて見ると、一々それに反應が現はれて、至極面白い結果を見る事が出來る。彼の自動車の如きものは、千萬金を投ずる人でなくては手に入らぬ玩物であるが、子供は貧民でも亦た能く樂しむ事の出來る自動的の人形であつて、玩物としては實に上等の玩物である。併ながら、此の玩物が何時まで其效用を持續するかと考へて見るに、その成長するに從ひ、追々と親の意のまゝに成り難くなり、遂には全く手に合はぬ樣になる。幼少な時分は脅しつ賺しつして、親の玩物にする事も出來るが、それが十五歲を過ぎ、二十歲に及んでからは、何うしても親の思ふがまゝには行かず、動もすれば、之に反抗して甚しきは糞婆老耄親爺の暴言を以て之に報ゆる樣になる。是れは啻

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に人類のみならず、鷄でも犬でも其子が小さい時は、母たるものが之をすべての危害から庇蔭し、自分の食を削いてまでも之に與へる程親密な關係であるが、少しく大きくなると、親子が食物の奪ひ合ひをしたり、嚙み合ひ蹴り合ひさへもやる樣なもので、人間も動物としては亦た此數を免れぬと云ふ甚だ情なき次第である。斯くの如く考へて見ると人間が玩物にせんが爲に子を欲しいと云ふは、其事の正否はさて置き、實際その効用の期間が長くないと云ふ事を考へねはならぬ。

●第二、自家の業を繼がせると云ふ事も子を欲しがる理由になる。我國では昔からの習慣として、子が親の業を繼ぐと云ふ事を一つの名譽とし、醫者の子は大凡醫者になり、庄屋の子は大凡庄屋になつたものである。これは本來人間が現狀を維持したいと言ふ性から起つた希望であつて、自分が是れ迄やつて居た職業を子の爲に止められるのは甚だ快くないと云ふは人情である。假令へば、親が料理屋を營んで居たのに、子が呉服屋になるとか、大工の跡を左官が立てると云ふ事に成つては、俄かに店の構造を變へねはならず、從來使用した道具が一時に不用になる。又折角の得意先を失ふと言ふ樣な種々の損失を恐れて、之を免れんが爲め自分の子に同じ業を執らせたいと言ふのも無理ならぬ事である。けれ共、今日では任用令とか開業試驗とか云ふものが出來て、役人の子は必ずしも役人になられず、醫者の子は必ずしも醫者の業を繼ぎ難く、又商人でも株式會社やツラストの出來る時代となつて、親の顧客をそのまゝで子に讓ると言ふ譯には行かず、且つ、學術の進歩と器械の發明が甚だしく、工業が益々大仕掛となる今日では、假令へ同じ業を營んでも、親の代に使用した器械を其まゝ子が役に立てると言ふ譯に行かぬ。斯くの如く考へて見ると、今日では親の業を子に繼がせると言ふは餘程六ケしき事であつて、之を以て我が子を欲しがる理由とするは甚だ薄弱な事ではあるまいかと思ふ。

●第三、財產を讓る爲に我が子を欲しいと言ふ人がある。これは自分が死んだ後あかの他人に遺產の分け取

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りをせられるよりも、血を別けた我が子に讓りたいと言ふので、甚だ尤もな人情であらう。遺産の内にも金錢と有價證劵の如きものは、誰の手に渡つても一定の價値はあるが、一家の寶物とか特別の由緒ある品物に至つては、之を他人に與へて左程の價はなくても、之を自分の子孫に讓れば一種特別の有難味がついて居る。假令へ屑屋に賣つては三文の價なき古着や古道具にしても、子としてそれが親の使用したものと思へば、之に附いた垢でも汗でも何となく懷かしい樣な氣がする。又親の方から考へても、自分が死んた後ちにも子があつたならば、此の本の蟲干もして吳れるであらう。あの刀劍も銹びぬ樣に保存して吳れるであらうと思へば、大に安心して死なれる譯である。併しながら、又他の半面から考へて見るに、人間が他人に渡さず是非とも我が子に讓りたいと言ふ金錢、家屋、地所と言ふものも、素を糺せば皆他人の所有であつたが、或は之に少しく自分の力を加へて造つたものである。假令へそれを先祖から承け繼いだものとしても、先祖も亦之を他人から得たものとすれば、子の無き人の死後に之を他人に與へると言ふ事も左まで歎くに足らぬ事ではないか。又假りに我が遺産の内に、立派なる美術品とか國寶とも成るべきものがありとすれば、之を社會の共有に歸し、その業の專門家をして保存せしむる方が遙かに安全ではなからうか。彼の西洋人の中、往々巨萬の遺產を擧げて公共事業の爲めに寄附するものあるを聞き、甚しく之に驚く人もあるが、凡ての富は自分一人の造つたものでなく、皆社會的の產物であるが故、之を社會へ返却するは當然であつて、格別譽め立てる程の事ではないと思ふ。要するに、偶ま自分に子のある人が之れに遺產を讓りたいと云ふは、人情として許すべきにもせよ、子を有たぬ親が遺產を讓らんが爲め、故らに子を欲しがると言ふは、甚だ無意味な事ではあるまいか。

●●第四、人が年を取つてから養ふて貰ふ爲に子を欲しいと言ふ事がある。成程今日の如き生活の不安な世の中では、老後に我が子でもあつて養ふて吳れねば饑寒

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に迫ると言ふ恐れがある。それで、多くの人は力の及ぶ限り其子を教育して置き、成業の後はその恩返しをさせやうと云ふ工夫をする、けれ共、今日の教育制度から考へて見ると、小學より高等の教育を終るまで、少くとも二千圓以上の學資が入る、其學資が恙なく出來るとしても、現今の競爭的試驗の下に於ては、一科の學を修了し得るものは志望者の十分の三四に過ぎず、又學科卒業後の收入は甚だ僅少なものであつて、其子自身の生活費を引去るに及び、親を養ふべき餘裕あるものは極々少數である。語を代へて之を云へば、利益の爲には我が子を教育するよりも、同じ資金を投じて鷄か豕を飼ふ方が遙かに利廻りがよいと言ふ事になる。況んや十分なる教育を施さぬ子に至つては、成長の後ち其の妻子をさへ養ふに窮するが常であつて、決して兩親を安樂に過ごさせるだけの働を爲し得べき筈がないのである。そこで、世間の親達は金持の内から養子を貰はうとか、持參金のついた嫁を取らうとか、所謂金錢結婚なる不自然な事を願ひ、或は娘を賣物にして、一生を左團扇で暮さうと言ふ様な、不道理な事さへも爲すに至るのである。以上は此の問題を經濟上から考へた話であるが、更に之を人情の上から見ると、我國人の習慣として、老年に及んでからは、成るたけ我が子と同棲して居たい、死際には我が子の看護を受けたいと云ふのは、親たるもの丶一般に望む所である。けれ共、それは「父母在せば子遠く遊ばず」と言ふ、儒教的道德の容易く行はれた時代の事であつて、今日の如く人事の複雜と交通機關の發達の度が甚しくなるにつけ、人が遠方へ旅行するの風は益々盛んになり、又西洋に於ける親子別居の習慣が追々と我國にも及んで來るに從ひ、子があつたからとて死際まで之と同居して、其介抱を受けると言ふ様な機會は、甚だ得難いものと思はねばならぬ。

●●第五、死後の葬祭をさせる爲に我が子を欲しいと言ふ事がある。これは或る宗教上の信念から起つた事であつて、之に對する六ケしき議論はさて置き、親たるものが我が子に手づから香花を手向けて欲しいと言ふ

のは、一種のやさしき人情として我々は之に反對する理由を有たぬものである。又子としても眞に亡き親を追懷するの情から之を吊ひ、之を祭ると云ふのならば甚だ感心な事であるが、今日世間の實際に於て葬式や法事を營むもの丶爲す處を見るに、死者に對するの禮と言ふよりも、寧ろ生者の虛榮心を充たす爲めの如く、徒らに造花や行列の華美を極め、盛宴を張つて喜ぶと言ふ樣な傾向がある。又墓場へ行つて見ると成るだけ其の敷地を擴張し、鐵柵を廻らし石碑を大にするなど、大凡人間に誇るのが主眼であつて、死者に對するの禮としては見られぬ樣な虛飾が多いのである。更に考へて見ると、石は傾き鐵柵は錆びる時が來る。我々人間の後はどの位長く續いても早晩斷絕すべきもので、誰々萬歲など云ふは唯だ言葉の形容に過ぎないのである。故に血族や墳墓の如くはかなきものに倚賴して、其跡を永遠に繼がんと試むるよりも、後世の人を友とすべき無形の主義精神を公明正大に保持する事を勉めた方が、遙かに優れた事ではあるまいかと思ふ。

第六、自分に肖た胤を此世に殘す爲め子を欲しいと言ふ事もある。遺傳と言ふは實に爭はれぬ事で、子供が成長するに從ひ、身體の構造から生理的の作用及びその性癖に至るまで、悉く親に肖たものが出來る、而して、親たるものは、我が子が他人に似たと言はれるよりも、自分に似たと言はるゝを喜ぶのは人情として當然である。併しながら、之を社會全體から見た時には、我々の如く色々の癖もあり、亦た欠點のあるものに、よく似たる子孫を此世に殘したいと言ふは、甚しき自惚では無からうか。或は社會の爲に大なる不利益では無いかと言ふ事も考へて見ねばならぬ。

以上は唯世人が通俗に考へさうな理由を述べたものであるが、これ等の箇條には皆幾分か相當の意味を含んであつて、全く之を無視すると言ふ譯には行かぬ。けれ共、人は何故に我が子を要するかと云ふ問題につきて、其理由とする所は唯これだけの事であらうか。或はもう少し深く考へて見たならば、別に何等かの意味がありはせまいか。私は姑らく玆に疑を存して世の識者の教を乞はんとするものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

結婚の媒介

やなき

私は未婚者の一人で御座いますが、この半年ばかりは結婚に付、四方からはげしく勧誘せられ、大に困難して居るので御座います。其勧誘する人の言葉は様々でありますが、私の氣に合はぬことのみ多く、未だ安じて其說に從ふ譯に參りませぬ。私考へて見まするに、現今の青年男女は其理想こそ、一時高尚であつたかもしれませぬが、これ等勧誘者の熱心に對しては、遂には節を折て、服從せねばならぬことになつて行く場合が多からうと思ふのであります。青年の元氣が結婚に依つて消滅するといふのは、大方これ等が其原因であらうと思はれます。左に記するは其大要であります。

第一　早く相續人を得る爲めに結婚の必要を說くのであります。其說に依ると、早く相續人を得ぬと、自分が老年になつてから困るといふのであります、一應尤もの說と思ひますけれども、此考は封建時代の遺風であつて、自分は子供の厄介にならねばならぬ。自分の血統は絶やしてはならぬ、といふ思想から割出したのであらうと思はれます。私は未だ其考に盲從する譯には參りませぬ。

第二　君の老母も已に六十を越して居るから、早く嫁を取り、身を固めて安心させるがよいと申します。私は結婚すると否とに依つて、身持を變へる樣なものではないつもりで居ります。又過去時代に屬する人の心を休める爲めに結婚を急ぐ必要は認めませぬ。老母を慰めるの方法は外にあらうと思はれます。老母の心休めの爲めにする結婚では、甚だ價値のない話であります。私の友人に親孝行といはれる人ありまして、老母の衰體を看護させる必要上、老母の氣に入る樣な從順な女性を求めて結婚致しました。私は如何にしても其友人の樣な心にはなられません。

第三　彼女の家は門閥はよし、財産はあるし、それに、其父は君の知る通り有名な人だから、世話のあるを幸に結婚したら君の將來の爲めによからうと申します。私は名利の爲めに結婚する譯には參りませぬ。

其他色々申す人がありますが、大要右の三者の内に含まれて居ります。而して、其本人に關しては、何れも何れも、異口一致して、從順なる性質であることを賞賛致します。從順は美德であるとは思ひますけれども、結婚に際し、媒介者が好んで其德を特筆大書するのは、私の合點せぬ次第であります。之れは矢張り昔時の奴隷的細君を好み、見識ある女性をば不從順として擯斥する思想の表はれたものであらうと思はれます。現に私の友人にして、充分教育ある細君を持ちながら、自分がそれを厭服して居るのを、自慢らしく話して居るものもあります。又私の先輩の一人にして、老母の手前を憚り、細君と共に樂しむことを絶對に廢止し、海水浴には何時も老母のみと同行致しまして、細君には何時も留守役をつとめさせて居る人があります。私は此樣なことをする必要を認めませぬのであります。

私は勿論媒介者の志を感謝するのでありますが、右の樣な次第からして、安じて、これに從ふ譯には參りませぬのです。私は自分の信ずるところに依て進むつもりで居りますけれども、現今の如き男女交際の途杜絶して居る時代にては、勧誘又は媒介を爲す人の力は最も大切なることでありますからして、之れを論ずるの必要があると思ひます。故に今茲に氣の付きましたことだけを述べまして、諸君の御說を伺いたいと思ふので御座います。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家族の健康

内藤生譯

有名なる某醫師が健康保養法に就き四規則を設けた。ところで彼が死ぬると、其藏書が賣り物に出た。

其中一冊には大層重要な健康論が説いてあり、全くこれを購求してしまふまでは、買ひ手とはいへ、口も開くことを許されないといふ程の代物で、格別高價なものであつた。

さて此の書物の買ひ手となつた者が、其書を宅に持ち歸るや、取急いで、しらべて見たところ、大の失望落膽！書いてあることはホンの簡單な四規則に過ぎぬ。つまらない、無駄な金を使つたと一度は思つたが、いろ〳〵と熟考の末、其規則を實行した御蔭には永の病氣も囘復した。其後は、彼は安い物を買つたといふ話が出ると、屢々其の醫書のことに及ぶのであつた。

所謂四規則といふのは、

一、頭腦は冷靜にせよ。
二、足部は温暖にせよ。
三、晩餐は輕いものにせよ。
四、早起きせよ。

といふことであつた。

＊　＊　＊　＊　＊

富み榮えたりとて、絶えず病苦に襲はれなば、何の價があらう世に秀でたりとて、憂鬱病に冐されたら何の價があらうぞ。消化善良、脈搏佳良、そして、元氣盛なることが、幸福なるものゝ要素で、他の外面的利益が、此を抑制しようなどいふことは全く不可能の事であると云はねばならぬ、

慢性的病症などに冐されむか、折角、赫々たる前途も爲めに暗黑たるに反して、矍鑠たる健全家には憂苦も爲めに光明を發つほどの事がある。

健康なるものは、單に肉體的苦痛を免るゝばかりではない。吾人がすべての外界、及び諸機能の使用より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

樂感を得る事の出來る一つの力であるのだ。

申すまでもなきことながら、此の力なくば、結婚も幸福なること能はず、當初、相當の健康を保持せずば、當然結婚の責任を負擔したるものでない。柔弱な小供を可哀相にも世の中に生み落すわけになり、其の子は目出度誕生したと言うよりも、浮き目を見せにほうり出されたなど誹らるゝだらう。

十分壯健であると、氣色もよいもので、夫婦仲を睦じくして行かするには、健康といふことの實に大切だといふことが、誰にも解る。

頭痛などいふ病氣がなかつたら、世の中の夫婦間に、もつと、隨分樂しい月日が見らるゝであらうに、頭痛といふやつは、癇癪で、恐にもつかぬ物言ひをさするもの。

身體の具合がくるつて仕事の手に着かぬ時、家庭で溫厚に親切なことの出來る筈がない。博士チョンソンが人は病むと惡漢となると言つたのは此なのだ。

疾病に惱む妻に寄する同情、親切から、其の夫の行ふことに如何程のものがあらう。

カーライル夫人の常に言つたことに、

「宿が極めて少しでもいたはつて呉れますと、誠に名譽と思ひます。私の頭痛が起り、頭がガンく して參りますと、宿は同情を示してくれまして、重い片方の手を私の頭上に乘せて、數秒間チーツとさせて置きますから、餘りの痛さに叫び立てようと思へば叫べますが、私は、夫の厚意の嬉しさに、微笑しつゝさながら、殉死者であるかの如くに、おとなしく坐つてゐますのです。」

若し夫の親切なる行爲が、すべての場合に必要のものとすれば、如何なる原因にせよ、妻が病氣に陷つた場合には、殊に親切を盡すべく、妻が今や子持とならんとする場合には、一層しかあるべきだ。

此時こそ夫たる者が妻の希望に留意してやり、厚情を盡し、意を用ひてやり、妻の心配を安んずるに戰く競々たるべき時期だ。かゝる時期に
疲勞たるや、妻の後年をして、苦痛、

正二位伯爵東久世通禧君題詠
文學博士 木村正辭先生題詠
東宮侍講 本居豐頴先生閲
大江榮人先生編

教訓歌集

洋裝全一冊 定價 並製 金四十五錢 上製 金六十錢 郵稅金拾錢

教訓歌集は、古今名歌の純潔無垢にして、子女薫育の好材たるもの無慮三千餘首を擇び、敎育敕語に據りて神祇、國體、敎育、文學、武勇、君臣、父子、夫婦、兄弟、朋友、修身、志操等に類聚したるもの、今斯界の泰斗本居先生の愼密周到なる校閱敎正を重ね、改稿數次、玆に此完成を見る、蓋し小學、中學、高等女學師範學校等に於ける修身、國語科の參考書として至要の寶典たるべく、また詩人文人、さては淸新なる家庭にありて、座右に缺くべからざる絕好伴侶たり、

祝祭送迎 婚禮葬儀 準備案內

洋裝全一冊 定價金貳拾錢 郵稅金四錢

いかなる家庭にも是非一冊は必要の良書！

發行所 東京市牛込區矢來町四十四 園屋書店

平民社同人編

革命婦人

價十二錢（郵稅不要）

吾人は敢て此の小冊子を溫良貞淑なる日本婦人の膝下に供す

▲革命婦人目次

第一章 プレシコウスキー（肖像入）
（一）活ける革命史 （二）革命運動起因
（三）「人民の中に行け」 （四）一千餘人の大捕縛
（五）貴人を棄てゝ革命運動に加はる
（六）西比利亞の十餘年 （七）革命社會黨の創立
（八）「革命の祖母」芻蕘

第二章 ルイス、ミツシエル（肖像入）
（一）小學敎師より革命黨員となる
（二）「我を死刑に處せよ」 （三）香具なるルイズ

第三章 ウエラ、フイグチル、其他
（一）婦娟花の如き少女（肖像入）
（二）西比利亞獄中の烈婦
（三）カラ女囚の飢餓同盟

發行所 東京市麴町區有樂町三丁目 平民社 電話本局三三六二

取次所 東京市麴町區元園町一丁目 由分社

中附一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

―(告廣刊新)―

▲實價六拾錢 郵稅八錢▼

母の心は一素封家の家庭を描出して、新舊思想の衝突、繼母子の關係、兄弟の情愛を細敍し、其日常平和の裏に驚くべき大波瀾の起れるを示す。即ちたゞに男女の痴情を說き、戀愛の靈をのみ謳歌するの類にあらず。中に淚あり、戀爭あり、一編事態の推移によりて憐むべき主人公の運命は、別に大なる敎訓を讀者に與へんとするに至りては、是を家庭小說の上乘なるものといふも決して誣言にあらざるを信ず。春葉氏が穩健なる想と優美なる筆致は此好題目を捉え來りて東京日々新聞紙上に連載し、類なき大好評を以て迎へられたり。今其完結を待ちて直に一冊の美本となし、將來家庭に於ける最良の讀物となす。

菊池幽芳著
家庭小說 乳姉妹
前編、後編 全二冊
實價各六拾錢郵稅各

發兌元 東京日本橋區通四丁目角 春陽堂

中附二

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものだらう。若し夫たる者にして、世帯の幸福を重んじ、後悔を免れようと思ふものなら、かゝる境遇に際した場合に、一しほ其妻に盡すところが多からう。そして、又妻の方に在つては、自身の健康に注意するのが義務であるといふわけは、己の健康が生兒の健康に影響する仕方を注意すべきものゆゑである。

吾人は世の家庭の人々をして、「衛生記事」が近刊に列擧する左記の過ちに注意せしめたいと思ふ。

一、健康の許さぬ折、無理に働くこと。

二、人は食する分量の多き程、健康で、丈夫になるだらうと思ふこと。

三、眞夜中褥に就き、曉天に起き出で、そして眠らざること一時間ならば、一時間丈の儲けをなしたと思ふこと。

四、少しの仕事、或は、運動が善いなら、激しく、長い運動は一層善いと思ふこと。

五、眠るには家の一番小さな室で澤山だと思ふこと。

六、食事を濟すに一分しかないかの如く取り急ぐこと。

或は、食欲なきに食すること。

或は、腹一杯なのに飽食すること。

或は、單に口よごしに食すること。

七、兒童にも大人丈の仕事が出來ると信ずること。

又、勉強すればする程記臆えらるゝと信ずること。

八、即時にきゝめある薬なら、後の害を考へず、何で身體に善いと思ふこと。

九、暑いからとて時候はづれに薄着すること。

十、如何なる時候といへ、風に、直接曝されて眠ること。

十一、家傳薬、専賣薬なら如何なる病でも、人間萬病の特効薬なりと思ふこと。

遊ぶのと働くのと丁度甘く調和さするより重要のことはない。十歳の學童に十六歳の青年と同じ時間勉強さすなどは、父母たるものゝ避けべきこと。

若し健康なるものが、幼時に保養せらるべきものとすれば、小兒は馬の子と同筆鋒で、育てゝ行かねばな

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

らぬ。十分野ばなしにして置き、學問などは體力に沿うて課するやう注意おさ〳〵怠つてはならぬ。

さて、ヂョーヂ一世の侍醫サー・サミュエル、ガースなる人は、さる倶樂部の會員であつたが、或夜、同倶樂部に行つた折、彼は其夜澤山患者があるから、直ぐ歸らねばならぬと言つた迄はよかつたが、上等の酒を出されて見ると患者などは忘れてしまつた。

此時、サー・リチャード・スティールが居合せたので、彼が患者のことを注意すると、ガースは訪問帳を取り出した。それには見舞ふ可き家が十五軒も書いてあつた。先生曰く、

「今夜見てやらうか、やるまいか、大した變りはない。何故といふに、九人は身體がひどく惡いので、世界のあらゆる醫者殿がかゝつても直すことは覺束ない。して、六人は極身體がよいから、世界中の醫者がかゝつても殺せないのだから。」と、言つた。

世の多くの人々が身體にかまはぬのも、大抵こんなもの。己の身體はよいから、どんなことをしたとて大丈夫だとか、惡いから、到底直らぬとか思つてゐるので、健康を損ふ基と云へば、一本の酒か、少々の食物から起るのが多い。自分の聞いた話に、さる有名なる人物であつた。ひどく痛風を病み、老年のところ、上等の正宗を一倉所有してゐた。彼が其倉に近寄らうしすると、醫者は注告して、正宗はやめて、ラムネでもお飲みなさいと、言つた。處が痛風先生言ふことを聞かぬ。

「私はラムネを飲んで痛風を直すよりも、正宗を飲んで痛風を病む方がよい。」と、返事した。

ハーバート・スペンサーが言つた。

「心身は均しく大切にすべきものとすれば、健康保養法は人の義務だといふ確信を弘むるより焦眉の急はない。世には衛生道德といふやうなものがあるといふことを知つて居る者が少い。」

人々平素の言葉や、行爲には自分達の身體は勝手次第にしてよいといふことが含まれてゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然の箴誡に背いたため病氣にかゝると、それは單に禍と見なして、放肆な行狀からの結果とはせぬ。己が子女後孫に及ぼす不幸は、屢、罪科を犯したる程ひどいものであるが、其不幸を以て罪科とは毫も思はぬのである。
事實、大醉の塲合には肉體上破戒の罪惡を認むる。そうであるが、何に依らず、肉體上の破戒は、皆な罪惡となると推論する者は無い樣だ。實際、養生法の破戒はすべて衛生的罪科である。

と。

シドニー・スミスは健康に適當以上の多食をした人かも知れぬが、決して病の爲めムシヤクシヤするとなどなかつた。彼が老友への一書翰の末へ書き添えた言葉に、

「小生は痛風やら、喘息、其他いろ〳〵、病氣の問屋に御座候もの丶、若しさる病氣なかりせば大の强壯家にて候。」

とあつた。

家庭の幸福の爲め、吾人は健康を保養するやうにしやう。萬一病に罹ることあるも、愉快に元氣よくすることにしやうではないか。

モック、ソーセーヂ

これは私が近頃魚の肉を以つてソーセーヂの如きものを作り、勝手に附けた名であつて、素より世間へ通用するものではありませんが、若しも諸君の内に之をお試しになつて、ソーセーヂに似たものが出來たならば一入のお慰であらうと思ひます。

材料。

魚肉 百二十匁　ベーコン或はハムの脂肪 三十匁　鹽 一大匙　胡椒 三小匙　セーヂ 一小匙　肉豆蔻 少々

何にても新鮮しき魚肉をとり、骨と皮を去り之を叩きて細かき筋を除き、擂鉢にて半時間計りすり、鹽と脂肪を加へ、尚胡椒以下の藥味を入れてよく擂り交ぜ、之を饅頭の樣な形か、或は拇指の太さに作り、同し脂肪にてあげる。

脂肪は之を細かく刻んで用ゐます。ベーコンやハムをフライする時流れ出た脂肪を貯へて置き、其まゝ用ふれば結構です。

セーヂは香氣强き草を乾燥したもので、其粉末は豚肉の如き稍不消化なものと配合するに適します。

肉豆蔻は塲合により之を省いても構ひません。

又之を腸詰にするには、豚又は牛の腸を求め、之を適宜の大きさに切り、濃き鹽水に漬して折々内部を外へ返し、三四日を經て内部の粘膜をこさげ取り、よく洗ひて後、布を以て其水氣を拭き取り、前に作つた肉を之へ詰めるのです。之れは兩端を紐にてくゝりて茹でるか、或は脂肪であげて食べます。（緑亭記）

＊　＊　＊　＊　＊

英國家庭の一美風

〔ベーカント、チエアの話〕

松の舎

予は目下英京倫敦なる一英國紳士と互に書翰を用ひ、語學の事に就いて研究中であるが、其中には餘課として彼我、風俗習慣等の考究もある。

先々月であつたか、到着した一書中に英國の家庭に就いて、一美風と思はるゝ一節があつた。此は讀者諸君が多分既に知り居らるゝことゝ思ふが、筆ついでに御紹介致し、特に軍人家族の御一讀を煩すのです。同書翰中、予が友は戰爭の甚だ悲慘なるものなることを痛歎し、英國の家庭に就いて論及したる後、同國の家庭に於ける一美風を報じて來た。其主旨は下記の如くである。

英國の或る家庭に於いては、若し其一員が、例へば、戰死でもした場合には、其家に「あき椅子(ベーカントチエア)」なるものが出來る。

ベーカントチエアは、既に死亡した人といへども、無き者と見なさず、飽くまで家庭の一員として、尊敬し、又は愛護して行くので、其者が生前用ゐた椅子は、一家團欒の席にやはり其位置を占むるので、決して輕視せらるゝといふことはない。

外人の日本に關する智識は實に淺薄なもので、日本の家庭に就いての質問には驚く可き程のものもあつたゆゑ、予は十分説明し、尙進んで、日本にはベーカントチエアなどは作られぬが、同樣の精神は何人にも無論あつて、命日には死者が生前好みし菓子、菓物の類を位牌、木像、寫眞等に獻ずるは普通で、何事か重大事件を企てむとする場合には、位牌、木像、寫眞等に向ひ、恰も生けるものに對するが如くに事實を語る孝子、兄弟、姉妹、忠僕等のあることを報じて置いた。

然るに內實に就いて鑑みる時は如何。一度外國の文物本邦に入るや、一向に外國風俗の模倣に勉め、本邦固來の美風を輕視して憚からぬ。それで、近頃では命日に生前の嗜好物を獻ずるが如きは、時代に適せずなどゝ思考し、英國本國にあつては今尙、ベーカント、チエアなどの設けある家庭のあることを知らざるものが多い。

物は新しきに傾かむとする時、古きを顧みざるものだ。併し、本邦の如き、今やたゞ新奇をのみ慕ふ幼稚

の時代でない。宜しく靜思熟考、我が本邦古來の美風に十分重きを置かなばならぬ。家齊うて後國齊ふものとすれは、一家の德修まつて後一國の德修まり、各家の美風は即ち一國の美風を作る所以である。

今や我邦征露の大役に際し、家族中勇ましく外征の長途に上りし者一人二人とはいはず、多くは三四五人をも出せる家庭數ふるに遑なき程である。で若し夫れ其等の家族の一人にして散る櫻花、潔く時代の犧牲となつた曉には、生前の所持物、殊に愛玩物は固より、いかに瑣少の品とはいへ、名譽の紀念物として永く保存し其命日には死者に膳部を供し、一家團欒の席にも死者の坐を設け、以て生前の逸事、武勳等を物語たるならば、單に死者に對する愛情を厚うし、去る者は日々の疎しの弊に陷ることのないばかりでなく、家庭敎育に貢献することもたしかに僅少でない。

敢て死後といはず、今や盛んに陣頭に立ち花々しき戰ぶりを世に示しつゝある軍士を有する家庭に在つては、一家團欒の夕涼などにも、これは父君の席とか、これは兄君の團扇と、共に坐を同じうするもの、如く禮を盡し、又食時に際しては、先づ、父君にお初つを呈するなど、飽くまで愛、即ち禮を盡すことを勉めなば如何と思はるゝ。此の如きは疾くに軍人の諸家族に實行せられつゝあることのみなれど、ベーカント、チエアより思ひ附きて用もなき繰言を…………

京城だより（京城の物價）

		（本年六七月）	（昨年六七月）
一、牛肉（百目）		卅錢内外	十錢内外
一、鯛	小尺以下二人前以上	四十錢	二十錢
	中尺以上五六人前以上	一圓	五十錢
	大尺五六寸十人前以上	二圓	一圓
一、鷄一羽	（小）	五十錢	二三十錢
	（大）	一圓	五十錢
一、玉子	（大）十個	六十錢	四十錢
	（小）十個	四十錢	二十錢
一、理髮		十五錢以上	三十錢以上
一、大工左官	賃金	一圓三四十錢	一圓三四十錢
		一圓	五六十錢
一、薪炭		一圓五十錢	七八十錢
一、鹽一升		十錢	四五錢
一、借家料		五圓	二圓
		廿五圓	十圓
		七圓	一圓
一、地所賣買	一坪	廿四五圓	五六圓

目下日本人にて在韓成功の者十に一二も覺束なく、餘は多く食ひ込み涙中の由。

右の傾りにて目下在韓日本人の生活程度が、昨年にして如何ばかりの變化を爲したかゞわかる。一般讀者諸君殊に余はこれが渡韓希望者諸君の御參考となろことゝ思ひ、同地よりの近信中の一節を抄して…（松の舍）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭園藝　二葉

●花守日記

七月――小園の草花は六月二十九日一齊に播種したるもの。

四日　ジニヤ。モーニンググロリーの二種、種皮を被つて地中よりモグリ出づ。其二葉、前者は楕圓形で、後者は幅廣く、先は凹んで居る。

五日　石竹。アスター三種。木犀草生え出づ。少づし丶の差はあれど、二葉は皆楕圓形だ。

六日　カーチーション。ペチニヤシンクル。美女櫻の三種生え出づ

七日　河骨の花を取つて來た。

八日　スターフロックス。フロックドラモンデイ。水蝶花。ペントステレモン（紫帶紅色）生ふ。二葉は矢張り楕圓形。

九日　金蓮花、種子を地中に殘して生え出づ、二葉は廣くて先が三つに切れ、縁は褐色だ。

十日　ジニヤはどうも百日草らしい。

十一日　小供が小さき手々で草花を拔き始めた。さつき僕が雜草を拔いたのを眞似るらしい。

十二日　小園を犬殿に素通された。

十三日　森澤君の兄さんが滿洲から送られた番椒は、三寸ばかりに生長した。

十四日　ライマの二葉勢よく出て來た。

十五日　金魚草、カンタベリーベル。ニーゲラ生ゆ

十六日　玉蜀黍の節に、灰色の瘤のやうな奇體なものが出て來た。細菌に刺戟されて出來る一種の病乎。

十七日　小兒の頭大の南瓜一個落ちた。本蔓に生つたのだからと云ふ。

十八日　水蜜桃一株蚜虫の難より遁れる。

十九日　駄目だと思つて居た花菱草生ひ出づ。

二十日　宿の主婦はやしやんぽー（ヤシャの實）を黑色染料にするとて干て居た。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二十一日　黄色の美しいハマボウの花を初めてみる。

二十二日　隣から鬼百合三本貰ふ。小さいのを坊に持たす。

二十三日　焼津でカンナの眞紅の花をみる。

二十四日　夕方散歩すると、山裾の女郎花の蕾に、露の玉が置かれてあつた。

二十五日　スキートアライサム咲き初む。白い小い質素な花だ。草丈六七寸。

二十六日　『お前さん豆と云ふ』莢菜豆を一把貰ふ。

二十七日　草花に水肥をやる。冬瓜の雌花開く。

二十八日　ジニヤ蕾を持つ。そうして、蕾を持つた枝丈け、夕方になると萎れてしもう。如何？

二十九日　百日草咲く。在來種より美しい。開花すると、夕方になつてもピンとして居て萎れぬ。

三十日　靜岡で見事な朝貌を見る。知人は旅行して居て逢はずに歸へる

三十一日　夕方瀬戸川の橋上で涼風に吹かれた。

八月

一日　ジニヤは毎日變つたのを咲く。主に八重で、中には天竺牡丹を欺くやうなのもある。

二日　カーネーションは白粉色を帯びて來、葉細く、莖短く、益々石竹と區別出來るやうになつて來る。

三日　籬の木槿は此頃眞盛りだ。

四日　隣の向日葵は陰に植えてあるので日が出ても入つても一向頓着ない。

五日　いゝいゝところてんばなを呉れると云ふので、貰つてみたが撫子のことだつた。

六日　舊暦七夕の短冊書きの手傳を仰せつかる。千代の二句をかはる〴〵に書いてたら紙がなくなつた。

朝顔や星のわかれをあちら向。

夕顔も寢るやくそくぞほしまつり。

七日　けふは七夕様が作物を見廻つて下さるから野良へ行かれぬ。と宿の主婦が………。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八日　燒津で夜會草の眞ッ白な風をみた。
九日　ペチユニヤ、シンクル咲く。朝顏のやうな形で色とり／＼。しかも花は丈夫だ。

＝前號「花守放浪日記」參照＝

●秋植えて春咲く花

球根草花の中、當期植込んで、來年の春咲く者の中、極く美しいのを二三種紹介します。秋蒔く草花は昨年の九月號を參照せられたい。

▲アチモチ。〇〇〇。緋色のは廣まつて居るが、八重や一重の、紫、紺、桃色、絞り、覆輪などは多く見ない。英國には之等七八十種もあつて、昨今日本へも餘程變つたのが來て居る。三月から五月の間に、一株十餘輪も花を着けるから、つまり長く觀賞される。

之を栽培するには、三四十日前から水に浸けて腐らした大豆を肥料とし、作土と混ぜ、二三日經つてから種球を植え込むのです。場所は乾地を選び、濕地なら鉢か地上げをするかせねばイケませぬ。これは九、十月の間に植えるので、肥料は芽の出るまで、前の大豆

の腐つたのに、十倍位の水を加へて二三度やるとよい。芽が出て尙肥料を與へると葉ばかり生長して、花の咲くのが遲れる。芽は二十五六日で出るが、寒地では冬の間藁の被でも爲てやらぬと枯死します。

花が咲き終ると、種球を掘り上げ、陰干して貯藏するのが順序です。

▲チユーリツプ。〇〇〇〇。俗にカツリ咲とも申します。アチモンと同時に開花し、變種は百四五十もありませう。五六寸から一尺五六寸までも草丈けに別があり。花にも一重八重の別があります。八重咲のものは牡丹を欺く見事さです。

培養法は前種に等しい。唯だ芽の出るのは遲く、四十日は確かにかゝる。

▲ラナンキユラス。〇〇〇〇。矢張三四月に開花し變種も多い。培養法はアチモンに同じく、また詳細は今春一度紹介した筈です。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●新花譜　―昨今の我が園圃―

（渚山兄より）

兼て御送り下さつた草花かず／＼、先月あたりから咲きそめて、今では眞ッ盛りのもあり。少々咲き過ごしたのもあり、さうかと思ふと生々しい蕾も交つて居て、座敷の庭と裏庭とは、共に爛熳たる色彩の美に滿ち／＼て居ります。

フロツクスは三種ほどありますが、何れも忍耐力の強い、健實な花で、そうしてどこか可愛い優しい處のあるのは私の最も愛する一つの理由です。つくばね朝顔も右に似て、生命脆からずけつぺきかは知らねど、日本の花のやうに、餘りそつけない咲きやうはせず、雨にも風にも幾多の困難の中に毅然として其色を變へざるは、意志に強く、節操に固き西洋婦人の美點が偲ばれてうれしいです。

西洋と云へば、金蓮花と日本のけしに似た花（美人草ならん）とは全く別種の趣きを具へ、花の色と云ひ、姿と云ひ、全く西洋特有の花らしい。外に金魚草はしほらしく、ニイゲラは瀟洒たり、石竹はおとなしい令孃の趣があります。

今年は昨年に比し、多少花守の經驗を得、出來る丈の世話をしたつもりですから、効果が餘程あがつたやうです。フロツクスは五鉢程生育させたので、友達の家なぞへも二つ三つ贈りました。友は買つたのかと云つた位。苦勞の結果はあるものだと思ひました。

畠物もまづ／＼よい方です。胡瓜。西瓜。スイートピー（此の莢も豆もマズい。寧ろ觀賞的、牧草だ）。大角豆、ふじまめ、玉蜀黍、苣、蕃椒、大豆、里芋、などを植えて居ります。草苺も隣りから貰つたのが二本許り植えて居まして、昨今非常に繁殖したやうです。西瓜は非常に勢ひがよいやうです。今に立派なものが顯れるだらうと思つて樂しんで居ります。

家庭雜誌をよみつゝ　　近江　和田郁子

せの君のひろ庭のほとをひも繙はつして向ふふみの樂しさ
夕されば針の手やめてせの君と語るも樂し此書のうへに
妻となりやがては母とならむ身のこよなき友は此書にこそ
團扇とる暇たにあらば此書を先とりて見よ心すゝしも

子供の睡眠時間

ドクトル　ペルアー氏講話

アメリカ合衆國デトロアーのハンコツ、ク學校にある母親俱樂部でドクトル、ペリアー氏がなされた話、有益と認めましたから一寸譯して見ました。

まだ生れて程經ぬ嬰兒は、殆んど絶えず睡眠して居ります。夫で、稍長じても、生後一ケ月間は絶えずと云ふ程でなくとも、大半は睡眠の内にある。また生後二三年間は一日に何度となく眠るのです。其後だんだん育つて來ると、毎日の晝寢を止める樣になるが、然し、夜は如何に長い時でも始終熟眠するものです。だから、一見すると隨分驚く程ですが、然し睡眠は兒童にとつては非常に有要なことなので、此時代に睡眠の時間を少くすると、直ぐ健康に障るのです。と申すは、活動力の多量が初めの五六ケ月の發育に消耗されるからです。されば、醫師の子供などは、其五六歳に及ぶまでは大抵午後の八、九時から午前の七時頃迄、殆んど十一時間少しも覺すことなく睡らせます。また其子供が長じて十歳頃になりましても、九時間乃至十時間の時間を睡眠時間と定めて居るのです。要するに、睡眠時間は啻に子供ばかりではありません。此の間は「安息」の時ですから、どんなにでも適宜の時間内は睡らねばなりません。ですから、是を醫學上から見て申しますれば、少年時代は八時間、青年時代は七時間、成熟後は六時間と定めるのが至つて適當するのであります。

大人の事はしばらくとして、子供はおしなべて神經の過敏なもので、動もすれば激しい情に打たれるものだから、よく其神經を一樣に調和して行くよりも、其の活動力を更に速かに費消するのであります。だから、睡眠を能くさせて、絶えず是を回復させねばなりません。最も肝腎な點は、此の費消と云ふことゝ、回復と言ふ事との二點をよく注意して居り、さほど情の過敏でない子供でも、此二點がよく出合ふ樣に、多くの睡眠を與へる一事であります。さりとて、兒童の活動も睡眠と同樣に人間を强健に發達させる本質ですか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ら、睡眠に對して活動もさせなければならぬのは勿論です。獨逸の俚諺に『宵の睡眠時は朝の睡眠に增して二倍の効力がある。』と云ふことがありますが、此の語には多少の眞理があります。だから、夜を更かして用でもない疲勞を覺ゆることは、出來るだけ避けなければなりません。況んや兒童が成長するときには、與へられた必要な睡眠時の極量だけでも、常によく守らして不都合なく、就眠すべき時を違へぬやうにすべきである。一體肉體の營養は、瞬時の休みもなく進むものだが。營養の最も適した時は、安息の時にあるのは疑ひもない事だ。「Qui dort aire」即ち「眠るものは食す」と云ふ語があるが、實驗上眞理である。然るを、若しも睡眠を充分にさせなかつたならば、つまり過重に活動力を費消し、其回復作用を調へない事となり、終には體が痩衰へるとか、神經が興奮し易くなるとか、不眠症になるとか云ふ恐れを來たします。然し、夫だからと云つて、世には無暗に寢つかせるために、搖つたり、たゝいたりする人があるが、是は苛酷と云ふもので、必要のない事なるのみならず、搖つたり、たゝいたりすることは、船暈の樣な嘔吐を催ほさせ、一つ誤れば腦に有害な影響を與へる。また砂糖水など與へて睡らせやうとするものがあるが、是は麻醉劑を與へる樣なものだ。また寢物語、お伽話などと云つて、話をして聞かせる人があるが、これは搖るのと同じ事で、動もすれば、想像力を早くするのみならず、眠むると惡癖を誘發し、且つ恐怖の念を起し、夢を見、魘され、恐惶の發作などを起すものです。だから兒童は獨りにして置く時が最もよく、かつ健全に眠むると云ふので、大抵の醫師は堅く乳母や老母と一所に兒童を眠らすことを反對して居る。次に兒童の寢室は暗くして置くがよい。しかし、若し火光の入用な場合があつたらば、他のものより電氣燈が一番よいです。

以上はペリアー氏が子供の睡眠に就いて云つた事だが、尙ほ同氏は神經性の兒童に關するザツトした注意を與へて居る。これも一寸參考になるから紹介いたしましやう。

神經性の女子が產んだ兒童は、其母の乳を飮ませないで、良い乳母をかゝへるが宜しい。それから、乳を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

離してから後、茶とか、珈琲とか、アルカホール性の飲料は與へてはなりませぬ。また兒童に適せぬ興奮は凡て避けるがよろしい。即ち、躁音の如き、騷動するが如き、眼を衝く樣な烈しい光線の如きは、其兒童を益々神經質にしますから大いに避くべきであります。そして、充分親切に篤く世話をしてやり、また兒童の身をしまらせる樣な適宜の體育法を施すがよろしい。世間では往々早く學校へ入れたがる弊があるが、是れは愼しむべきで、腦の活動を餘り早くすると不可ませんから、餘り是れに關係しない樣に身體の方の『力』を發育させる樣しむけれなけばなりませぬ。

鷄の卵

「叔母さん鷄卵は何から出來るノ」
「そんは、鷄からサ」
「だツて叔父さんは、鷄が卵から出來ると言つてよ。」

理屈

「オイ辨次、何で井戸を覗いて居るンだ。」
「今、銀貨を落したのよ!!」
「馬鹿奴!!! 覗いても出るものか。」
「そンなら、覗かなけりア出るかい。」

水飴

「お母さん水飴を買つて下さいな」
「あれは平常食べるものではありません、あれは風邪をひいて、咳の出る時に食べる藥です。」
「ぢや風邪をひくからさア……ねえ母さん！」

●お辨當案

左は先頃「二六新聞」の趣向「お辨當案」の募集に應じ、選評の結果、第一等に當選せしものなり。日々お辨當作らへに苦勞せる細君や母親方には、此上もなき好材料なるべし。

△第一　種（費用廿錢）

月　△鯛のてりやき（前夜やきおき翌朝又火を通す）△くわゐときんなんの甘煮（これはその朝煮る）紅生姜△なら漬

火　△鎌倉ハムのサンドウイッチ（ハムは一本か半本買ひ置き其朝ザッとうでてサンドウイッチに製す）△ミルクチヨコレート（これは四角に割れるやうになり居る故これを五ツばかり入れおき茶碗に入れ湯をかけると直ぐにミルクチヨコレートとなる）

水　△ビーフオムレツ（これは普通に製す）△サラダメロン（瓜を二ツに割り種子を出し皮をむき小口より二分位の厚さに切りサラダオイルをかけ酢及シホ、コセウを振かけたるまゝにてよし）△トースト（パンを薄くきり薄くバタをぬりおき食する時鳥渡火にかざす）

木　△やつそぼろ（そぼろは鳥にて製し芋なき時は大根若くは冬瓜などもよし）△すゞきのとくさやき（さかなは何にてもよし）△福神漬

金　△牛肉のから煮、生姜入り（さたうは極少々加へ生姜を薄く切りて入れ佃煮のごとく煮る）△たまごやき（これは普通にてよし）△らつきようのあちやら

土　△ローストビーフ（ローストビーフは前夜やきおき）△ポテトウ（ポテトウは其朝ゆでる）△キヤトチトースト（これは印度の漬物にて、瓶詰になり居れり）

▲第二　種（費用十錢）

（月）▲のり卷▲うす燒▲玉子の握ずし
（火）▲蒲鉾とくわゐの甘煮▲ならづけ
（水）▲炸丸子ザーワンツ▲馬鈴薯のしほ煮
（木）▲玉子やき▲福神漬
（金）▲さかなのしほやき▲紅生姜
（土）▲いり卵のサンドウイツチ

◎第三　種（費用六錢）

◎切いか◎香の物
◎蛤の佃煮◎味噌づけ
◎たゝみ乾白魚つけやき◎ならづけ
◎ハンペンつけやき◎香のもの
◎くわゐと◎牛蒡の甘煮
◎氷豆腐と◎いんげんの甘煮

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新聞 三面記事評釋

堺利彥

▲貰ひ子殺し事件

先月の新聞の三面記事の中で一ばん目についたものは『貰ひ子殺し事件』であります。是は東京の町はづれに住む或る婦人が、養育料附にて人の子を貰ひ、それに乳は呑ませずして、葛湯だの、只の湯だのを呑ませ漸々衰弱させて遂に死に至らせ、甚だしきは直ちに手を下して壓し殺したといふのです。そしてそれには多くの連累者があり、其の殺した子の數が四十何人といふ多數で、其の家の床の下から死骸も澤山掘りだされたと云ふのです。

小生が先年反譯して家庭夜話の一冊として出版した佛蘭西のゾラの小說『子孫繁昌の話』の中に、是と善く似た話があります。

『巴里の里子と云へば、見す〳〵殺しにやるも同じ事で、其の仲買とも云ふべき惡い婆が、五人十人の子供を一からげにして、荷物の樣にして運んで行く有樣は實に無殘なもので、或時の如きは停車場の待合に一人の子を置忘れて行つたといふ程で、先に行つてからは又殆んど豚の子と同じ扱ひをするので、生きて歸るのは先づ無いと云ふ話で………年々巴里から田舍に送りだす子供の數は實に二萬人以上であつて、そしてそれが皆な消えうせてしまふのである。』

して見ると、日本も追々文明が進んで來て、佛蘭西と同じ程度まで達したものと思はれます。然し世間の新聞紙も、之を以て文明社會の誇りとは思はぬと見え、彼の婦人の事を『人鬼』とか『鬼婆』とか罵つて居ります。然るに小生などは、斯樣な現象を見て、只だ其の罪を犯した婦人を罵つた丈では氣が濟みませぬ。幾ら罵つたとて此の悲慘事が消される譯でありませぬから。そこで國家の法律は此の犯罪人を捕へて監獄に入れるのですけれど、監獄は決して犯罪を減ずるものではありませぬ。然らば斯くの如きの悲慘事は如何にして消されるか。それには先づ深く其の原因を探らねば

ならぬ。

小生思ふに、此の悲惨事の第一原因は其の婦人の貧乏といふ事に在るのです。其の婦人が暮しに困ると云ふ事が無かつたなら、決して斯んな悲惨事は起りませぬ。世の中に生れながらの『人鬼』も『鬼婆』もありませぬ。衣食に困らぬ裕福な暮しが出來るのに、誰が好き好んで人の子を殺しませう。人を殺すか自分が死ぬかといふ瀬戸際に立てばこそ、いつそ思ひきつて人を殺す氣にもなるのです。

それから次の原因は其の子を產んだ人の貧乏に在ると思ひます。誰しも子は可愛いに極つて居るものを、僅かの金を附けて人に遣らうといふのは、よく／＼の事でありませう。自分の手元に置いて育てる丈の餘裕があるなら、誰も子を人に遣る者はありますまい。尤も、新聞の記事に依るに、大がい私生兒の始末に困つての事らしく見えますから、是は單に貧乏の爲ばかりではない、道德上の罪を逃れんが爲にしたのだと、云ふ人があるかも知れませんが、小生より見れば、それも矢張り貧乏の結果だと思ひます。

元來、若い男女を永く結婚させずに置くのは無理な事です。男女相近づかんとするは申す迄もなく人間自然の情でありまして、全く之を防ぎ止める力は世の中には何物にもありませぬ。然るに、今の生活の困難といふ事がありまして、男女相愛しても容易に結婚する事が出來ませぬ。そこで止むなく私生兒といふ結果を生じて來ます。是は今の世の道德上からは餘り褒められぬ事となつて居りますが、實は人情自然の事であります。して見れば、私生兒の多くは不道德の結果では無くして、矢張り貧乏の結果であります。

斯く考へて見る時には、此の悲惨事の原因は全く貧乏といふ事に在るのです。世の中に貧乏といふ事の存在する間は、斯くの如き悲惨事は繰返し／＼現はれて來ます。幾ら其の人を『鬼』と罵つても、幾ら其の人を監獄に入れても、決して効能のあるものではありませぬ。そこで斯くの如きの悲惨事を此の社會より消さうとするには、是非とも此の貧乏といふ事を無くするよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り外はありませぬ。

然らば此の貧乏を無くするの法如何。それは小生等の平生唱へて居る社會主義に依るの外は無いと思ひます。一口に云へば、土地だの、財産といふものを、誰の有、彼れの有とする事を止めて、社會全體の共有にして、金持もなく、貧乏人もなく、皆が寄合つて睦まじくして、樂に暮さうと云ふのです。その話は今ちよつと委しくは出來ませぬけれど、そんな樂な世の中になりさへすれば、「人鬼」は自然に無くなり、監獄も不用な物になり、戀人は自由に結婚する事が出來て、子供は皆な無事に育つ事にならうと思ひます。

但し、これは根本の救濟策でありますが、眼前の應急策としては、政府なり、市町村なりで、私生兒の養育院を設けるも善いかと思ひます。佛蘭西などでは、そんな樣なものがありまして、私生兒を持て餘した場合には、そつと持つて行つてそこに預ける事になつて居るさうです。責めてそんなものでも出來れば幾らか此の悲慘を救ふ事が出來やうかと思ひます。

●嬰兒の歌（マクドーナルド作）

愛しき子よ、汝は何處より來りしぞ？
　凡ての所より此處には生れし。
さしも緑なる眼は汝よ何處に得たるぞ？
　吾天降りすがらみ空より得ぬ。
汝が額のすべらかに高くは誰が爲しゝぞ？
　吾が來るしほに柔手あり、かい撫で玉へり。
汝が頰を温かき白薔薇の如せしは何ぞ？
　世の人しらぬよき事見ければなり。
三角なす口のべの樂しき笑みは何處ゆ來しか？
　天人三人一時に接吻したまへり。
汝の珊瑚なす耳は如何にして？
　神宣へれば聽かんと出て侍り。
其腕其手は何處より得しぞ？
　愛の轉化して紐となりしものになん。
其小さき可憐の足は何處より得し？
　天人の翼と同じ箱より得ぬ。
さては其等の如何にして汝とはなりしぞ？
　神我を思ひ玉へり、さて我は出來ぬ。
さはれ如何なれば汝は我等に來りしぞ？
　神は身らを思ひ、さてこそ我はお身らに來りつれ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

筆ついで　濤山

▲『半生の墓』　小形な清楚な書物となつて出ました。目次中、小説、隨筆、飜譯など種々あるが、誰でも一番に見たいと思ふものは、最後に位置を占めて居る著者の自傳『予の半生』であらう。先づ「幼年時代」から說き起し、次に「少年時代」「東京遊學時代」と、一々時代別けにして、終りが「平民時代」で結ばれてある。其筆には一毫の飾りなく氣取つた所なく、誤魔化した所もない。畢竟著者自身の半生を神の前へ出て告白したものと見て差支へない。平生著者の面影を心に想像して、自ら一種温かい感情の湧くを覺ゆと云ふやうな人には、此書は實に天の賜物であると云はなければなりません。且つ又、これを單に個人と云ふ狹い關係から離れて見るならば、此書は方に明治社會の一大思想史であります。幼年時代の心、青年時代の心、壯年時代の心、これが社會の潮流と相觸れて如何な音響を上げ、如何なる發展をなすべきか、これ等の疑問が明瞭にわかるのであります。私は誰にでも一讀を勸めたい思ひがするのです。

▲村澤君へ　情死問題に就いての兄の寄書拜見せり。至極御尤です明晰とあつたのは成程云ひ過ぎであつたでせう。倘ほ研究の爲めなれば、紙上に掲げて公にしたいのですが、前號、前々號と二册續いて出て居るので、もう少々身に付く時分、今しばらく待つて下さい。

▲出雲、岡崎君へ　「三見慘殺事件」は悲慘の極です。無論社會の罪たるは疑ひを容れじ。詳細は其内に誌上へ公開する時が來るだらうと思ひます

▲讀者の質問　園藝、料理其他の事で、質問したい點があらば申込んで下さい。記者は知れる限りお答へ致す積りです。園藝には二葉君あり、料理には祿亭君が控えて居ります。倘ほ家庭内の紛擾、それから、起るいろ〳〵相談には堺氏とも談合して、稍々力にならうと云ふ覺悟で居ります。

▲移轉　由分社は業務の都合にて、麴町區元園町一丁目廿七番地へ移轉しました。

▲由分社少年叢書　愈本月の十五日を期し、第一册が産れて諸君を見舞ひます。

●新刊著者紹介

料理書、衛生書、がいろ〳〵の書店から發行せられるのは、實に夥しい事であります。雜誌は無論、新聞にも、此等の記事のないのは稀でありませう。世の細君方が、これを充分に咀嚼して自家のものとなし、それに自家の新發見、新經驗の色を加へて、これを應用するならば、これ程結構な事はない。只滑稽なのは、これを鵜飮みにして、少しも頭腦へ入れやうとはしない人です。これは害にこそなれ、露程の益もない譯であります。さて。こゝに紹介致すは例の村井弦齋氏の著、『臺所重寶記』と諸博士の『家庭衛生談』の二册、共に重寶なる家庭の必要品であります。前者は日用生活に於て知つて居らればならぬ事を、問答體に書き、誰にも解るやうにしてある。誰にも解る[illegible]、其中[illegible]理化學の智識を含め、經濟の極意も攷へてあるらしい。[illegible]もの、堂々たる博士の談話が筆記してある。こ[illegible]れば、お醫者の權座位は乾度動まるに違ひない[illegible]つた

村井弦齋著

家庭改良の最良指針
避暑旅行の携帯書籍

實地經驗 臺所重寶記

正價金八十錢
郵税金十錢
同臺灣清韓金三十錢

●臺所の衛生●臺所の心得●臺所の禁制五十條●臺所の器具●器具の磨き方●掃除の仕方●シミ抜きの法●洗濯の法●諸品の貯藏法●魚類肉類の手輕料理●野菜と菓物の功能及料理●諸國の名物●臭氣除けの法●害蟲除けの法●水と氷の使ひ方●牛乳味噌等の扱ひ方●漬物の心得●米の擇り方●飯の炊き方等三百餘頁あり、總て臺所に必要なる智識此中に備はざる事無し

●著者の自序に曰く此書の記事は盡く我が家庭の實驗する處にして余は飽く迄も世人に親切ならん事を期すと、然り此の如く讀者に忠實なる書は世に多く得易からず

●一升の酒を買はんより此書一冊を買ふに如かず

發行所 東京市麹町區有樂町二丁目 報知社出版部

大賣捌 東京市銀座大通新橋際 新橋堂書店

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り

（電話 新橋）八一六番 二八〇八番

支店	所在	電話
飯倉支店	飯倉四ッ辻	電話 新橋 一五七四番
赤坂支店	赤坂表一丁目	電話 新橋 二〇六八番
四谷支店	四谷大通り	電話 番町 五一〇番
神樂坂支店	牛込神樂坂	電話 番町 六三〇番
本郷支店	本郷一丁目角	電話 下谷 七二番
須田町支店	神田須田町	電話 本局 二〇七三番
米澤町支店	兩國米澤町	電話 浪花 二五九〇番
吾妻橋支店	淺草吾妻橋通	電話 下谷 七三番
品川支店	南品川一丁目	電話 新橋 一一三九番
横濱支店	横濱吉田町	電話 横濱 一三〇四番
代理店 田中銀行	日本橋坂本町	電話 浪花 二四〇番

外科皮膚病 梅毒 痔瘻 外科的婦人科 尿道器械的療法

診察 午前九時より十二時まで

東京 新橋際 出雲橋 **加藤病院**

院長 獨國醫學士 加藤時次郎

分院 横濱神奈川臺。火木土午後三時至六時 小田原海岸 毎月曜午前中

東洋内科醫院

東京神田區駿河臺鈴木町二番地（御茶水橋畔）

電話本局八八八番 一三八五番

院長 醫學士 高田畊安

診察 毎日午前但日曜日及大祭日休業、入院診斷後隨時應需、火木土曜、窮者施診○病室増設落成

神奈川縣相州高座郡茅ヶ崎海濱 **南湖院**

（停車場所在）

副院長 醫學得業士 林止

診察 院長出診土曜日午後、副院長診察毎日午前、但日曜日大祭日休業、入院診斷後隨時應需、土曜日午後施診

東京麹町區三番町三十番地 **高田病院施診所**

（市ヶ谷停車場附近）

主任 醫學士 松田三彌

診察 毎日午前、但日曜大祭日休業、窮者ニ施診ノ上其病名及養生法ヲ示シ處方箋ヲ與フ○往診應需

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

改良ロンテニス
二重枠ラケット一組

一號	品	一二、五〇〇
二號	品	一一、〇〇〇
三號	品	八、八〇〇
四號	品	七、四〇〇
五號	品	六、七〇〇
六號	品	五、七〇〇
七號	小學用	四、七〇〇
八號	婦人用	六、〇〇〇
九號	婦人用	七、〇〇〇

ピンポン室内テニス

一號	一箱	一、二二〇
二號	同	一、五〇〇
三號	同	一、六八〇
四號	同	一、八三〇
號外	同	〇、八八〇

改良テニスネツト

一號	一張四間半	一、七五〇
二號	一張五間半	二、二五〇
三號	一張六間	二、四五〇
四號	一張七間	二、九五〇

ゴム入フートボール

二號	一個	四、〇〇〇
三號	同	四、五〇〇
四號	同	五、〇〇〇
五號	同	五、五〇〇
六號	同	六、〇〇〇
七號	同	六、五〇〇
八號	同	七、〇〇〇

體操遊戯器械一切

東京神田裏神保町五
安藤商店
電話本局四百八十四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

由分社移轉廣告

此度業務の都合をはかり、左の所へ移轉致しましたから、宜しく御承知を願ひます。

麹町區元園町二十七番地

由分社

家庭雜誌第八號所載要目

▲日本婦人の新使命　安部磯雄
▲青年男女の渡米
▲結婚と幸福　英國某原著
▲家居隨感錄　松の舍
▲花守放浪日記　二葉生
▲學生情死問題餘論
▲理科問答
▲星の話　希臘神話
▲雜話一束
▲料理二品
▲田舍の小家庭
▲[illegible]

▲本紙は婦人の味方となり時に社會の壓制と戰ひ時に婦人の鞭撻者ともなる
▲本紙は婦人を理想境に導かんことを期すれども尚現社會を忘るゝことなし
▲社會の根底は家庭に家庭の中心は婦人にあり本紙此點より社會改良を期す
▲本紙は婦人界を進歩せしむる根底の女子教育にあるを信じ此方面に盡力す

婦女新聞

毎週月曜

定價一部三錢　三ケ月卅七錢　半年七十二錢　全國無郵税

▲新しき婦人問題の論議を聞かんと欲する人は必ず本紙に來らざるべからず
▲婦人男女學界の出來事を知らんと欲する人は必ず本紙を讀まざるべからず
▲本紙は發行以來滿四年を經て今や漸く婦人界の一勢力と見らるゝに至れり
▲夫人令孃女教師女學生にして本紙を讀まざる人は時勢に後るゝの侮あらん

東京市牛込區東五軒町

發行所（電話番町）婦女新聞社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病 靜靖丸 頭痛

腦力を明快にし腦病神經病を全治す

腦病 にて常に頭重く、記憶弱力く、忍耐力薄く、氣鬱ぎ、不眠、頭痛を煩ふ人

神經 症にて僅の事を苦慮し、常に動悸、息ぎれを感じ怒り易く、悲み易く、心弱き人

逆上 症にて常に顔紅く、頭痛、眩暈し、耳鳴目かすみ、肩凝り背重く、便通少なき人

頭痛 症にて學生の常に煩ふ勉學性頭痛、感冒、徹夜、苦慮等より發する者其他總ての頭痛及び頭痛持の人

不眠 神經家又は老人等の夜分安眠を得ざる人、亦は苦慮、悲痛、等にて眠むられざる人

其他常に腦を勞する人及神經家亦は大酒家、肥滿家は持藥として此藥を服用せらるべし腦力を强健にし精神を快活ならしめ、中風、卒中風を豫防する希有の偉効あり、

藥價 〔二日分弱金拾錢 廿二日分(常備用)金壹圓 十日分金五拾錢
六日分金三拾錢 四日分金貳拾錢〕

本舖 東京市日本橋區藥研堀町 藥劑師 高木與八郎

逆上を引下げ睡眠を催し頭痛を即治す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

慈善券

ライオン歯磨小袋入に添付せり詳細は
實物に就き御承知あらんことを乞ふ

北米セントルイス萬國博覧會

名譽銀牌受領

發賣元　東京　小林富次郎

粉製 **赤罐入** 發賣

意匠嶄新且つ優美なる彩色罐入にして頗る携帯に便なり能く香氣の發散を防止し終に至る迄本品獨有の佳香を保つを得べし遠征の士其他旅行用に適せり

定價一箇拾貳錢

發兌元　大阪　小林支店